

海 原

題字 河原孝好先生

発行

平成 21 年 5 月 2 日
第 31 号
海 城 学 園
海 原 会

〔海原会事務局〕

〒169-0072
東京都新宿区大久保
3-6-1 海城学園
TEL 03-3209-5880
FAX 03-3209-6996
E-mail:unabara@kaijo.ed.jp

今号の紙面

正門の「クスノキ」／平成 21 年度総会案内	1
平成 21 年度大学入試結果／中高入試状況	2
同期会・クラス会等通信／那須高原だより	3
海原会賞／学園行事予定／定期演奏会／永年会費納入者／訃報	4
活躍してます	5
一教師として生きて／『ドナウの叫び』ワグナー・ナンドール物語	6
クラブ活動だより／会長交代／短信／お知らせ／編集後記	7
	8
	9
	10
	11
	12



出欠については同封の返信
用ハガキで、5月25日までに
お知らせ下さい。



みなさん!! 正門脇の「クスノキ」を憶えていますか
大きくなりましたよ 会いにきませんか

お久しぶりです。私は学園の顔の一つである「クスノキ」です。昭和の時代から今日までこの地に立って、在学時代の皆さんとお付き合いました。今も元気にしていま

容をお知らせします。以来、学校の移り変わりや多くの生徒たちの成長を優しく見守ってきた「海城のシンボル」ともいえる大切な樹木です。

「新宿区みどりの文化財(保護樹木)」にも指定されており、近隣の方々にとっても大切な樹木となっています。因みに、クスノキは5〜6月に黄白色の花を多数つけ、枝や葉からは、樟脳がつけられる優れたものの樹木です。

(小川晴望 写・記)

☆☆☆

平成 21 年度 海原会総会ご案内

平成 21 年 6 月 6 日(土) 午後 3 時から 1 号館 3 階講堂

■ 挨拶 海原会会長、海城学園理事長、海城中学高等学校長

■ 主な議題

- ① 平成 20 年度活動報告及び平成 21 年度活動計画
- ② 平成 20 年度収支決算報告及び平成 21 年度収支予算報告
- ③ 監査報告
- ④ 質疑応答
- ⑤ その他

■ 海城吹奏楽団演奏 校歌他(約 30 分)

■ 懇親会 食堂棟 2 階カフェテリア

■ 参加費 一般 3000 円

学生 1000 円 ※本年 3 月卒業生は「無料」

教育の 不易流行

学習指導部部長

春田裕之



2008年12月に高等学校新課程の告示案が発表された。中学校は2009年から一部(数学・理科)先行実施、2013年からは高等学校も全面实施となる。(2012年から数学・理科は先行実施)2015年には中・高共に全面实施となる。

教育課程の変更については、一般の方々にはさして興味のないことかもしれない。私学においては日々の学習内容に大きな変化がないことも事実である。ましてや受験時における難問・奇問が減少するわけでもあるまい。しかし、教育は人を育てる一つの手法であり、またある一面「理念」の世界である。私学は独自の教育課程を作ろうとも、やはりその基盤には文部科学省が提示する教育課程の理念が大きな意味を持っている。(昨今の話題では、未履修問題が象徴的である。)

では、どのような理念によって

平成 21 年度 大学入試結果

国公立大学

	学部	総数	現役	卒業生
東京大学 前 31 後 3 合計 34 (現役 20, 卒業生 14)	文Ⅰ	1	1	0
	文Ⅱ	7	2	5
	文Ⅲ	5	2	3
	理Ⅰ	11	9	2
	理Ⅱ	6	2	4
	理Ⅲ	1	1	0
	理三除く	3	3	0
後 期	理三除く	3	3	0
	文	0	0	0
	法	2	0	2
	経済	1	0	1
	教育	0	0	0
	総合人間	0	0	0
	理	0	0	0
	工	2	0	2
	医	0	0	0
京都大学	薬	1	0	1
	農	1	1	0
	法	4	3	1
	経済	6	2	4
	商	1	1	0
一橋大学 前 11 後 4 合計 15 (現役 8, 卒業生 7)	社会	4	2	2
	第1類	4	4	0
	第2類	0	0	0
	第3類	0	0	0
東京工業大学 前 8 後 1 合計 9 (現役 8, 卒業生 1)	第4類	4	3	1
	第5類	0	0	0
	第6類	1	1	0
	第7類	0	0	0
	第7類	0	0	0
北海道大		4(1)	1	3(1)
北教大旭川校		1	1	0
東北大		6(1)	4	2(1)
秋田大		3(3)	3(3)	0
山形大		1	0	1
筑波大		10(1)	6	4(1)
群馬大		2(2)	2(2)	0
埼玉大		4	2	2
千葉大		7(2)	4(2)	3
東京海洋大		1	1	0
電気通信大		2	2	0
東京医歯大		5(3)	1	4(3)
東京外大		2	2	0
東京農工大		10	7	3

※()内は医学部医学科の合格者(東大理Ⅲは除く)
4月8日現在

	総数	現役	卒業生
横浜国立大	9	6	3
新潟大	2(1)	1	1(1)
富山大	1(1)	1(1)	0
福井大	1(1)	1(1)	0
信州大	2(2)	2(2)	0
名古屋大	1	0	1
大阪大	1	0	1
神戸大	3(1)	0	3(1)
広島大	1(1)	0	1(1)
徳島大	0	0	0
愛媛大	1(1)	1(1)	0
首都大東京	3	2	1
防衛医科大学校	7(7)	1(1)	6(6)
気象大学校	1	1	0
国公立大学・大学校総計	156(28)	89(13)	67(15)

私立大学

	学部	総数	現役	卒業生
早稲田大学	文	9	6	3
	文化構想	16	4	12
	法	32	11	21
	政治経済	16	7	9
	商	23	13	10
	社会科学	7	3	4
	教育	13	9	4
	人間科学	9	5	4
	国際教養	2	1	1
	基幹理工	14	7	7
	創造理工	13	7	6
	先進理工	27	17	10
慶應義塾大学	スポーツ	1	0	1
	文	6	3	3
	法	18	14	4
	総合政策	3	3	0
	経済	24	11	13
	商	30	19	11
	理工	46	27	19
	環境情報	3	2	1
	医	1(1)	1(1)	0
	薬	9	5	4
	獨協医大	1(1)	1(1)	0
	埼玉医大	1(1)	0	1(1)
慶應義塾大学	明海大	1	0	1
	千葉工大	0	0	0
	帝京平成大	1	0	1
	青山学院大	3	1	2
	学習院大	7	1	6
	北里大	9	4	5

	総数	現役	卒業生
杏林大	1(1)	0	1(1)
工学院大	1	0	1
国学院大	2	0	2
国際基督教大	3	3	0
駒澤大	3	0	3
芝浦工大	6	0	6
順天堂大	2(2)	0	2(2)
上智大	38	27	11
昭和大	7(5)	2(1)	5(4)
成蹊大	4	1	3
成城大	2	0	2
専修大	6	2	4
大正大	1	0	1
中央大	47	21	26
帝京大	2(2)	0	2(2)
東海大	1	0	1
東京医大	3(3)	2(2)	1(1)
東京経大	1	1	0
東京慈恵会医大	4(4)	0	4(4)
東京電機大	1	1	0
東京農大	6	1	5
東京薬大	1	1	0
東京理大	131	77	54
東邦大	5(2)	0	5(2)
東洋大	3	1	2
日本大	25(4)	9(3)	16(1)
日本医大	2(2)	0	2(2)
日本歯大	4	0	4
日本獣医生命大	3	0	3
法政大	13	6	7
星薬大	1	0	1
武蔵大	3	0	3
明治大	72	22	50
明治学院大	2	0	2
立教大	25	6	19
立正大	2	0	2
麻布大	1	1	0
神奈川大	2	2	0
神奈川歯大	1	1	0
マリアンナ医大	2(2)	1(1)	1(1)
鶴見大	1	1	0
横浜薬大	0	0	0
金沢医大	1(1)	0	1(1)
同志社大	6	2	4
立命館大	3	1	2
四天王寺大	1	1	0
産業医大	2(2)	1(1)	1(1)
私立大学総計	798(33)	376(10)	422(23)

教育課程は編成されていくのであろうか。そこでクローズアップされているのが「PISA」(OECD 経済協力開発機構による国際的な学習到達度調査)である。この調査は、義務教育終了段階の子供が実生活で課題に直面した時にどの程度自身の知識や技能を活用できるかを評価することを目的として、読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシー・問題解決能力についてペーパーテストによる計測を行ったものである。平成 19 年 4 月、日本全国の小学校 6 年生及び中学校 3 年生を対象(四一カ国が参加)に国語・算数・数学について実施された調査結果を分析し、次のような諸点について課題が存在することが明らかとなった。

○説明文で述べられている事柄の理由を要約すること、資料から必要な事柄を取り出して与えられた条件に即して書き換えること。

○複数の資料から得た情報を比較して、伝えるべき事柄を明確に書くこと。

○地図で指定された場所について、必要な情報を取り出してその面積を求め、比較し、その理由を説明すること。

○仮定と結論の意味を理解して、正しい証明に改善すること。

つまり、「読解力」と「表現力」に課題があると考えられる。そこで、前学習指導要領の「生きる力」を育むという理念を継承しつつ、こうした調査を基にして新学習指導要領では各教科に於いて「言語活動の充実」ということが強調されている。総則では次のようにうたっている。

基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の育成

どの教科にも「基礎」とか「表現」という語が目立つようになったが、理科の科目名により顕著な特色が見られる。果たして卒業生の皆さんはどのような理科を学んだのであろうか。

新課程の理科必修科目は、「科学と人間生活」を含む二科目または基礎を付した科目を三科目となる。

実は、ここまでの内容は序論に過ぎないのである。私が書きたいことは表題の通り、「教育の不易流行」である。時代に即応した教育(流行)はあるものの、俗な言い方をすれば「譲れない教育」(不易)があるのではないかと思われる。ここ 3 年、海城の進学実績に驚きを感じる諸氏もいると思う。しかし、我々現教職員の仕事は、進学実績を上げること

は当然だが、単なる数字の問題ではない「海城の教育の本質」を考えていくことだと思う。グローバル化が進展する社会、性別や年齢を問わず

参画する社会が必要とする教育には、勿論応えていかなければならない。

現 行	新 課 程
理科基礎、理科総合 A・B 物理 I・II、化学 I・II 生物 I・II、地学 I・II	科学と人間生活、物理基礎、物理 化学基礎、化学、生物基礎、生物 地学基礎、地学、理科課題研究

平成 21 年度 海城中学高等学校入学考査結果

◇中学 1 回◇

平成 21 年 2 月 1 日実施

	国語	算数	社会	理科	総合
満 点	120	120	80	80	400
最高点	118	114	75	68	325
平均点 全体	79.9	62.6	41.9	41.9	226.3
合格	89.3	81.1	49.4	51.1	270.9

合格最低点 251 (400 満点)

(2 月 2 日発表)

出 願		受 験		合 格	
一般	帰国	一般	帰国	一般	帰国
601	10	564	9	159	3
611		573		162	

◇中学 2 回◇

平成 21 年 2 月 3 日実施

	国語	算数	社会	理科	総合
満 点	120	120	80	80	400
最高点	96	120	74	73	323
平均点 全体	67.0	68.5	48.7	45.4	229.4
合格	74.5	87.3	53.6	53.5	268.8

合格最低点 245 (400 満点)

(2 月 4 日発表)

出 願		受 験		合 格	
一般	帰国	一般	帰国	一般	帰国
1129	21	764	16	277	8
1150		780		285	

◇高校◇

平成 21 年 2 月 10 日実施

	国語	算数	理科	総合
満 点	100	100	100	300
最高点	84	89	98	229
平均点 全体	53.4	38.9	45.8	138.2
合格	58.4	48.1	55.2	161.7

合格最低点 138 (300 満点)

(2 月 11 日発表)

出 願		受 験		合 格	
一般	帰国	一般	帰国	一般	帰国
472	32	463	32	212	22
504		495		234	

(海城学園 HP より)



昭和20年卒 同期会

海城魂はいまだ健在

◎平成20年11月15日

◎後楽園 涵徳亭美都屋

◎出席者 26名

昭和16年入学して終戦前の20年3月卒業の我々の同期会は毎年行っているが、本年は11月15日、紅葉の小石川後楽園の涵徳亭美都屋で26名が集まり、懇談、盛会裡に海城校歌を合唱して終わる。その後有志十数名がカラオケに流れ、懐メロ、軍歌と進み、貴様と俺とは同期の桜、同じ海城の庭に咲く、咲いた花なら散るのは覚悟・・と齢80の海城魂はいまだ健在でした。

(石原 清 記)



昭和23年・24年卒 同期会 海原二三四会の集い

卒業60年を祝う

◎平成20年5月17日

◎有楽町 外国人特派員協会
◎出席者 30名

我々の学年は、毎年5月の第3土曜日に「海原二三四懇親会」を開いています。会合は40年以上も続いています。1948年旧制中学最後の卒業ですから、08年で丁度60年経ち、みんな喜寿を越えました。お互いに若干老いも感じますが、いまなお現役で活躍している仲間も多数おります。演劇関係で紫綬褒章を受章した深町幸男君と特許関係で黄綬褒章を受章した学園理事の阿形明君は現在もそれぞれ事務所を開いて活躍しています。

(大貫金吾 記)



昭和26年卒 同期会 海原二六会

年の老い方、過ごし方

◎平成21年2月22日

◎高円寺 アルシユ

◎出席者 14名

「二六会」は、偶数月の第四日曜日の午後2時から高円寺バーティーの名で、太田稔君の店「アルシユ」で開催している。今回の出席者は、市川孝治、市川成夫、太田 稔、加々美 訓、小竹康幸、小館啓人、立石博巳、高田雄一、土井 満、中村日出男、藤田富幸、星川敏夫、山内和郎、山口準一の14名だった。



この会も、少しの間、太田 稔君の健康状態に不安が出て休止していたが、特に問題もないことからこの度再開された。やはり逢えばお互いの健康状態が気になり、いかに若若しく、そして人が羨む老い方をするかに話が及んだ。勿論、政治、経済、

スポーツにも話題が及んだが、つまるところ、自分自身で愛される老人になるよう努力することが大事であろうということに落ち着いた。
(写真・立石博巳、情報・太田 稔、小川晴望 記)

昭和27年卒 海原二七会

黄泉の国へはまだ早い

◎平成20年11月21日(金)

◎於・高田馬場BIGBOX

◎出席者・25名

海城を卒業して57年になる。歳をとると1年経つのが早い。それでいて、みんなと会うのは本当に「お久しぶり」である。

例によって幹事のご苦勞と心配りで、欠席者40数名の近況報告の冊子が配られる。みんなどうしているかお互いの消息が気になる。それによると、遠い人、まだ現役の人、第二の人生に忙しい人、体を休めている人、出不精の人。いろいろ都合があつてしょうがないだろう。良しとするか。この近況報告で消息を知ること、思いを馳せ連帯感が生まれ、絆が深くなる。不思議だ。感謝。



宴たけなわになった。自ずとあつちこつちで小グループになり、積もる話に花が咲き、話題は尽きないようだ。だからこれで引き下がるわけにはいかない。突然、二次会の計画を提案、仲間の経営している飲み屋

に押し掛けることにきまつた。みんな腕白時代の顔をちよっぴり残し、元氣そのもの。



昭和33年卒 同期会 海原三三会

(山本満男 記)

もう喜寿を迎えるお年頃になった。この分ではまだ大丈夫！黄泉の国へ行くのはまだ早いようだ。せくな、老楽はこれからよ(詠み人知らず)

卒業50周年記念

◎平成20年11月14日

◎新宿・小田急ホテルセンチュリー

サザンタワー 21階

◎出席者 21名

卒業50周年記念会を晩秋の新宿南口でちよっぴり豪華に開催しました。出席者はいつもの顔ぶれで皆元



(前田昌則 記)

気です。石原長夫君の幹事のお陰で、場内に校歌のBGMが流れ雰囲気も上々、和やかなムードです。

司会進行池内宏君、物故者に黙祷して、乾杯は加藤清治君です。まず古賀理事長からの学園の近況などの報告を皮切りに、各自が2分程度のスピーチ。生い立ち、入学の経緯、学生時代の裏話、定年後の趣味の話など人生いろいろ。とても2分で終わらず、次回にまた後編をご期待という人もあり、賑やかでゆったりとしたひと時でした。

来年(平成21年)は古希のお祝いになります。6月の海原会総会に大勢出席し、秋の同期会を盛大にと約束し、校歌を斉唱、記念撮影、伊藤彰規君の一本締めでお開きとなりました。

昭和34年卒 同期会 海原三四会

2年ぶりの再会

◎平成20年10月26日

◎四ツ谷・スクワール麹町

◎出席者 恩師1名、同期生42名
 前回開催から約一年半を経ての開催となる。受付開始時刻のかなり前からロビーには多くの旧友が集まり、久々の再会を喜び合う声が広がり、和やかなスタートである。



会は幹事代表の挨拶、来賓としてお出で戴いた関下俊英先生のご挨拶、物故者への黙祷、乾杯と進み、歓談となる。参加者皆が彼方此方のかたまりになって旧交を温める。立食形式の宴であるので、その語らいの輪もできては解かれたり移動したり、楽しいひと時を過ごし、時間が瞬く間に過ぎてしまった。

昭和47年

海城中学入学同期会

40代最後のつどい！

◎平成20年11月8日

◎「わたみんな」池袋西武口店

◎出席者 9名



この会は平成13年9月に小室寿典君の13回忌に墓参したのを機に発足し、今回で8回目、40代最後の同期会となった。途中、小室君のお母様にも携帯から会の様子を実況中継す

途中、クラス毎に会員がステージに上がっての一分間スピーチ。皆が時間超過の現況報告である。感心するやら、納得するやらの演説会であった。

最後は全員で校歌を斉唱して散会となった。来年(平成21年)は卒業して50周年となる記念の年である。それに相応しい会を開こうと約束を交わし、二次会へ歩を進めた。

(市川武昭 記)

昭和62年卒

小林組クラス会

厄年の話で盛り上がる

◎平成21年3月8日

◎世界の山ちゃん新大久保店

◎出席者 6名



卒業式のあの日、まさか厄年の話で盛り上がる日が自分に訪れるとは

ることができた。関先生が3月に退職され、ご夫婦での旅行話の中にも身も心もほっとされている様子が伺えた。長年の進路指導大変お疲れ様でした。次回は人生節目の50歳となるのでさらに拡大して開催したいと

皆意気込んで幕を閉じた。(出席者写真右から飯田、岩城、関先生、小高、揚妻、脇、立柳、中沢、平野)次回も同時期に開催を予定しております。昭和47年中学入学の方は左記へ

連絡ください。

tiwaki@cablet.net.jp

tiwaki935@docomo.ne.jp

090(2209) 9011 (岩城次夫 記)

平成5年卒

1組クラス会

10年ぶりに開催

◎平成20年6月6日

◎新橋(ビアドイニングライオン)

◎出席者 27名

卒業以来一度しか開催されていなかった平成5年卒1組のクラス会を10年ぶりに開催いたしました。

残念ながら担任の中村先生は翌日の海原会総会準備対応でご欠席となりましたが、クラスメンバー46名のうち27名が全国より集まり、非常に盛り上がりしました。

平日の金曜にもかかわらず、当日は宮崎から矢尾板君、金沢から宮田君、静岡から野中(旧姓松岡)君らが現任地との距離をもとめせず参加してくれました。

学生時代は瘦せた印象のあった澤



田君、畑君、脇田君らがものすごい体重増(20Kg以上!)を果たしているかと思えば、一方激ヤセした村松君がいたり、10年の歳月は人を大きく変えるものだ、と当たり前のことを強く感じました。



今回10年ぶりの開催ということ

で、最も苦労したのは「現在の連絡先がわからない」ことでした。卒業アルバムで実家の電話番号を調べ、幹事の熊谷君、佐々木君、高野君と手分けして架電。オレオレ詐欺や振り込め詐欺と疑われたり、時代を感じましたが、当日は現連絡先の集約もおこなうことができ、今後2年に1回くらい(?)のペースで開催しようということになりました。2年後また皆がどう変わっているのかを楽しみに、次回開催の連絡を待ちたいと思います。次回幹事の大山君、脇田君よろしく!

当日来られなかった人は(名簿担当: 藤井)まで連絡ください

semen5699@yhb.ne.jp

(藤井 攻 記)

平成5年卒 9組ヤコバ会 小林組クラス会

石垣牛を堪能

◎平成21年2月28日

今回は白石君ご推薦、石垣牛を堪能できる恵比寿の炭火串焼(笑)で開催しました。

ノロウイルスやインフルエンザなどでドタキャンとなった人もいましたが、5組の木戸君が緊急参戦してくれて、出席者は小林先生を含め総勢11名。絶品!の石垣牛串焼きやレバ刺しを堪能(本当に美味!)しながら、それぞれの近況、恩師の方々の近況や在校時の出来事(事件?)のことなど盛り上がりました。二次会で焼酎の一升瓶が空いたらもう終電...それが恨めしいほど...楽しいひと時でした。



一時期は小林先生を含めて3人しかいなかったこともある小林組クラス会も、近年はたくさん集まって盛

り上がってきました。永年?幹事としてはありがたい限りです。また来年も開催しますので、是非よろしくお願いします。(出席者 小林先生、岩田、岩間、阪田、白石、那須、服部、前川、森澤、吉田、木戸(5組)、下河原)

(下河原優一 記)

平成10年卒 学年同窓会

目良先生の「最終講義」も

◎平成21年2月21日(土)

◎母校カフェテリア

◎出席者 94名(恩師10名含む)

平成21年2月21日(土)に、平成10年卒の学年同窓会を母校カフェテリアにて開催いたしました。今年で卒業から約10年、今回が初めての学年全体での同窓会です。

今回は、学年主任の目良先生が3月いっぱいまで定年退職を迎えられることもあり、会に先立ち、講堂で目良先生に「最終講義」を行っていただきました。目良先生には教員生活を振り返りつつ、未発表の自らの著作を元にお話し頂きました。スーパ一高校級の授業を懐かしき思い出しつつ聞かせていただきました。予定していた1時間はあつという間で、少し残念に感じるほど時間が過ぎるのが早かったです。講堂のマイクのセッティングなど協力して貰った放送委員のみなさん、どうもありがとう。

そして、講堂からカフェテリアへの移動の合間に、先生方に案内頂き、8階建てに生まれ変わった校舎の見

学を行いました。自分らの頃よりも、一層充実した校舎で学ぶ後輩たちをうらやましく思いつつ、変わらぬ私たちを迎えてくれる理科館に親しみを感じます。



カフェテリアでは、遅れてきたメンバーも合流し、懐かしいメンバーで談笑の輪が広がりました。初めには、売店の「おばば」も集まりに顔を出していただき、大きくなった生徒(私たち)と握手握手で懐かしみました。関野先生に乾杯の音頭をとっていただいた後、先生方にお話を頂き、学生時代が懐かしき思い出されました。最終的には84人の生徒と、10人の先生方に「ご参加いただき、盛大な同窓会となりました。またやりましょう!」

(鷲尾洋一 記)

平成10年卒

9組内田組クラス会

新校舎にも昔の香り

◎平成20年11月8日

◎母校カフェテリア
◎出席者15名
平成20年11月8日(土)に母校カフェテリアで、卒業後2回目のクラス会が開催されました。前回開催時は卒業後4年目でしたので、みな大學生でしたが、今回参加したメンバーは皆社会人です。卒業から11年目ですが、久しぶりに会っても面影は残っているもので、すぐに分りました。当日はお忙しい中、担任の内田先生にもお越しいただき、旧交を温めつつ夜遅くまで酒を交わしました。



今回のクラス会では新しくなった校舎見学がひとつの目玉になりました。高さが倍になり、色も薄ピンクから茶色に変身した本館はなんと8階建てエレベーター付です。8階から見る新宿副都心の夜景はかつて見たことがないほど素晴らしいものでした。自分らが過ごした学校と一変しているのに驚きました。しかしトイレに入ってみると最新のウォッシュレットが完備されているにもか

かわらず、洗面所の石けんはネットに入った「レモン石鹸」。懐かしさがこみ上げてきました。そして階段を4階まで下がると自分たちが過ごした教室がそのままあります。散らかった室内、若干香る体育着も、思いついた出をきき立ててくれます。つい自分の落書きを探します。

卒業して何年経っても、自分たちの恩師が学校におられ、こうして再会できることを非常に嬉しく感じました。

(鷲尾洋一 記)

平成14年卒

第4回学年同窓会

思い出の中高時代の写真

◎平成21年1月10日

◎母校カフェテリア

◎出席者 約30名

毎年恒例となった学年同窓会も今年で4回目を迎え、卒業生20数名の他、学年主任の茂木先生をはじめ7人の先生に来ていただきました。

徐々に大学卒業後の進路が決まり、それぞれの分野で活躍されている様子が伺えました。また今年は立川先生が中学・高校時代の写真をたくさん持ってきてくださいました。気がつけば中学卒業から10年の月日が流れ、当時の写真はとても懐かしいものでした。来年以降も引き続き持ってきてくださるということでしたので、皆様ぜひご覧ください。

学年同窓会は今後も毎年同じ時期に開催する予定です。これまで案内が届いていなかった方は是非こちらのメールアドレス(kaijo2002、

owner@yahoo.co.jp) までご連絡ください。よろしく願います。

(黒岩直輝 記)



至福の時を共有

◎平成20年4月6日

◎原宿 水交会

◎出席者16名

◎今年(平成20年)の懇親会は原宿の水交会「錨の間」に16名の方々が参加され、有意義に開催することができました。こうして参加できる人は幸せな人である。酒はたっぷり、ご馳走も山のようにあるが食べる暇もない。中学時代を振り返り友情をあたためる至福のときである。参加された皆様に感謝するとともに、参加できなかった方々のご声援を感謝しております。参加者は飯塚朗、内田恒司、大島厚太郎、沖為雄、萩原照之、嘉藤良平、倉田祐之介、栗岩隆嗣、栗林孝一、下村徹、高嶋勲、

深澤俊逸、増田真一、向海男、山下高樹、山本直三でした。なお来年(平成21年)の懇親会は沖兄の計らいで4月7日(火)水交会「朝日の間」を予約いたしました。

(山本直三 記)



湘南海原会

湘南地区在住の海原会員の会

知恵や経験語り合う

◎平成20年5月24日(土)

◎茅ヶ崎駅前 角力茶屋 中味川

◎出席者 10名

湘南地区在住の海原会会員が集う「湘南海原会」も今回で23回を迎えることができました。これも河合卓爾会長(昭和18年卒)以下十数名の会員が定例会の都度、今までの人生での有意義な知恵や経験を互いに披露し、語り合ってきたからであろう。今回は永きにわたり毎日新聞の報道カメラマンとして活躍されている



川島良夫氏(昭和19年卒)の過日テレビ放映されたベトナム戦記の思い出話や報道カメラマンとしての生々しい経験談等を披露していただきました。内容のある話でもあり2時間はアツという間でした。

(佐藤都志雄 記)

鉄道研究会OB会

創部40周年記念列車を運転

平成21年2月11日、鉄道研究会創部40周年を記念して、OB有志で上毛電鉄の貴重な旧型車両デハ101を貸し切った記念列車の運行を行いました。車両には手作りのヘッドマークが取り付けられ、参加者一同から歓声が上がりました。列車は中央前橋から終点の西桐生駅まで運行し、折り返して大胡駅まで戻り、車検区を見学。最後に記念撮影を行って盛況のうちに解散となりました。皆童心に返ったように車内や車両の写真撮影し、鉄道という同じ趣味を持つ

た者同士の絆の強さを再確認させられた一日でした。次の機会は45周年か50周年の時にと考えております。合わせて毎年開催している新年会にも是非ご参加頂ければと思います。

(平成3年卒 間多洋彰 記)

3回目の新年会

今年で3回目となる昭和・平成卒合同のOB新年会がことし平成21年1月10日に新宿「いさみ」で開催されました。学生中心の若手から創部当時を知る方々まで幅広く集まり、ご欠席のはずだった顧問の小林先生も途中でお見えになるなど盛況のうちに終了しました。また、現在鉄道研究会のOBの名簿を作成中です。過去に在籍しておりました先輩諸氏のご連絡をお待ちしております。

連絡先: <http://www.kaijokenob.com>
info@kaijokenob.com

幹事: 衣笠 慧

(平成18年卒 衣笠 慧 記)



お母さんの同期会

仲よし七人組

昭和54年4月に、海城中学に入學した生徒さんのお母さんの一人、大谷輝子さんから便りをいただきました。中学当時の父母会で知り合った池田和子さん、大矢佳子さん、川添和子さん、佐藤富美子さん、塩沢みよ子さん、それに中野正子さんの、お母さん七人が、それぞれの趣味を活かした生活の中で、年に六、七回、時にビール、ワインなどを傾けながら、話に花を咲かせているとのことでした。大谷さんとは、数回電話で話をしましたが、大変明るく、聡明、闊達なお母さんで、これからは生涯最高の宝物として、お付き合いくと話していました。

そして海城学園と海原会の益々の発展を祈念していますとも話していました。

(小川晴望 記)



目良誠二先生追コン

(平成16年卒有志)

平成21年3月7日に目良先生の「追いコン」を韓国通の先生にちなみ、新大久保の韓国料理店「縁香館」で開催しました。目良先生が六年間学年主任を勤められた平成16年卒業生有志の主催で、同学年の担任の先生方七名を含む三〇名強が集まって、思い出話で先生を送り出した。目良先生のご挨拶に始まり、小林先生の応援部仕込みの「エール」まで、笑いが絶えず大いに盛り上がったひと時を過ごした。



目良先生の授業は非常にユニークで、ご経験に基づく臨場感溢れる話に毎回引き込まれたことを思い出す。特に、中学一年生の時にネコ缶を食べさせられた授業は思い出深い。あの頃はまだ五〇代前半であった目良先生ではあるが、若干白髪が増えた点を除けばトレードマークの髭、バックパック、頻発するオヤジギャグと、今日でも何も変わっていない。トレーニングも欠かさず続けているようで、腕相撲勝負では今でも殆どの生徒をねじ伏せているそうだ。

こうしてまた母校から一人の「名物教師」が定年を迎えられたことは非常に寂しいが、目良先生の今後のますますのご健勝とご活躍をお祈りしたい。目良先生、長年の奉職お疲れ様でした。

(大場優次郎 記)

那須高原だより

21

一つ屋根の下で、同じ釜の飯を食べて、中学から6年間、または高校からの3年間、苦楽をわかちあひながら成長しあつてきた仲間が「生涯の友」となります。3月に行われた高校卒業は例年以上の感動に包まれた式になりました。特に生徒会長を務めた出口健太君の「別れの言葉」は6年間の感謝の気持ちをストレートに表現した内容で、卒業生はもちろん在校生や保護者、教職員の多くが頬を濡らしました。今号では、その「別れの言葉」をお届けします。この文章から「全寮制での学び」の意義を感じていただければと思います。

那須高原海城中学校高等学校

Prep部長 塩田颯二郎

別れの言葉

(平成21年3月17日)

卒業生代表 6年1組 出口 健太

卒業生を代表して在校生のみなさんに私が那須高原海城の6年間で学んだことをお話しします。

私は中学の頃は友人とよく衝突をしたり、先輩後輩との関係がうまくいかずに悩んだりしていました。そのたびに自分が傷つくことも、相手を傷つけてしまうこともありまし

た。逆に仲間が辛そうな様子を見ると、放つてはおけず進んで私も助けました。それは、本当の兄弟のようであつたと思います。

私たちの学年は個性の強い面々がそろい、元気が有り余りすぎるところがあります。きつと在校生のみなさんにも迷惑をかけたことと思います。この場を借りておわびします。しかし、私たちの学年には一つの思いがありました。それは「那須海城をいい学校にする」「那須海城の寮を日本一にする」ということです。そのために生徒会、寮自治会、部活動、委員会活動、そして学業にと、それぞれが自分を活かせる場で全力を出し切ることができたと自負していま

す。このことが私たち39人の誇りでもあります。まだ志は半ばです。今の那須海城に満足しては未来はありません。私たちの思いは今日をもってみなさんへとバトンタッチします。今日からはみなさんが那須海城をさらに進化・発展させてください。Yes We Can!今のナスカイ生なら必ずできます。

私たちがもつと迷惑をかけたのが、先生、職員の方々です。私たちはエネルギーを自制できずに「わがまま放題」「やりたい放題」の時期がありました。私も先生に対してカッとなり生意気な口を聞いたことが何度もありました。そんな幼かった私たちを先生方は見捨てずに真正面からぶつかってきってくれました。その時の厳しくも暖かい指導がなければ今の私たちはいません。私が生徒会長という大役を務める勇気やチャンスを与えてくれた先生方に本当に感謝しています。

最後に、6年間、遠くから見守ってくれた父や母に心から御礼を言います。ここにいる卒業生は恥ずかしくて素直に言えないかもしれませんが、親に感謝をしていない卒業生は誰ひとりいません。本当にありがとうございます。

私たちは那須海城での長い航海を終えます。しかし、明日からはまた新たな船出です。那須海城で学び、得たことは数えきれません。私たちの骨身にしみこんでいます。それらを自信と誇りにして、胸を張って旅立ちます。



た学年委員会の議長に何度も立候補し、学年の牽引車としての役割を果たした。又、学年の独自の行事としてサッカー、ドッジボール大会やクイズ大会などのイベントを各クラス、の体育委員やH R委員と協力しながら、企画・実行し、学年の連帯感を高めた。』

金子君は「僕のやってきたことが学校に評価して戴いたことは、すごく嬉しい」と笑顔で喜びを語ってくれました。

平成20年度(平成21年3月卒業)の海原会賞の受賞者は金子快聖(かいせい)君に決定した。

去る3月18日の卒業式に植木会長臨席のもと、水谷校長より賞状と記念品が贈られた。



吉横本村峯三瀧大嶋佐坂坂金加井伊安田須白塩小久木鍛浅刈苅飯席青勇松前菊溝伊加今等上熊二園川吉八宮小田松田北木瀬青内塩片
田井橋上崎浦塚胡崎藤本本田地子治上藤田中永川野池保附代見尾部島 木内田原池湊藤藤川々中野葉田田田田幡村繩村村村戸木藤原桐
皓拓悠信正寧範 弘一典俊雅拓貴良卓良正昇彰俊 脩真宗郷 亮大 圭太正英弘浩 淳和晃幸大丈耕基昭正 寿 弘信 辰邦
総亮也太究敬孝晃宏一朗考也史哉裕大矢典貴英紀晴大集聡太一応司望麿介亮祐郎英利泰二徹 二久司弘介児治久夫一正康隆昭之實直郎太

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。
(敬称略)

卜
報

活躍してます

夢は国産有人宇宙船

渡辺英幸 さん

宇宙航空研究開発機構
(JAXA) エンジニア



分けて運ばれた部材が宇宙で組み立てられ、いまようやく最終段階にあります。2010年までには国際宇宙ステーション全施設、設備が完成し、2016年まで参加各国がそれぞれに宇宙における研究、調査、開発実験などを行うことになっています。渡辺さんは自ら製作に携わった実験棟を見守りながら日本のほか各国の宇宙で活動する飛行士たちを地上から支えることになります。

高校時代が一番良かった

「高校の3年間が無ければ今のようにはなっていなかったでしょうね」と渡辺さんはいいます。「先生方に勉強しろとは言われませんでしたし、自由にやらせてくれました。それでいろんな相談に気楽に乗ってくれた」「先生との距離が近かったですね。個性豊かな人が多かったし、何でも話ができました」「成績は中の下というところでした。もっぱら弓道部で過ごしていました。私は足を引く張る方でしたが、団体戦で大会の2位までいったこともありました」「男同士で付き合いがべたべたしてないし、シンプルで純粋でした」。

大学でも好きなことに没頭
大学に入っても「点数やその時の結果だけで評価する」世界にあきたらず、子供のころから好きだった機械いじりもののづくりに熱中していたといいます。

ひとつはロボットづくりでもう一つが自動車レースでした。NHKの第一回ロボコン(ロボットコンテスト)では仲間とチームを作って参加したそうです。「ジムカーナという自動車レー

SF映画に出てきそうな巨大な宇宙ステーションの建設が、いま世界15カ国の協力のもとで進められています。この会報が皆さんの手元に届くころ、宇宙飛行士若田光一さんが日本人として初めてこの国際宇宙ステーションに長期滞在して様々な作業や実験などをしているニュースが大きく取り上げられていることでしょう。

実は渡辺さんはその日本の実験棟「きぼう」の開発、構造設計にはじめからかわってきただけで、数回に分けて運ばれた部材が宇宙で組み立てられ、いまようやく最終段階にあります。2010年までには国際宇宙ステーション全施設、設備が完成し、2016年まで参加各国がそれぞれに宇宙における研究、調査、開発実験などを行うことになっています。渡辺さんは自ら製作に携わった実験棟を見守りながら日本のほか各国の宇宙で活動する飛行士たちを地上から支えることになります。

スでは予算管理から車の改造、すべて自分でやる世界に没頭しました」。

ています」と語る渡辺さんのそのビジョンとは「日本の技術で有人宇宙船を打ち上げること」。渡辺さんの宇宙に賭ける旅もこれから本格的にはじまります。

自分では予算管理から車の改造、すべて自分でやる世界に没頭しました」。

ています」と語る渡辺さんのそのビジョンとは「日本の技術で有人宇宙船を打ち上げること」。渡辺さんの宇宙に賭ける旅もこれから本格的にはじまります。

「右も左もとにかく分からないことだらけ。部品一つに問題があれば宇宙飛行士の生命に関わるという重圧もありました」とにかく勉強しないとダメ。猛烈に勉強しました」。

ています」と語る渡辺さんのそのビジョンとは「日本の技術で有人宇宙船を打ち上げること」。渡辺さんの宇宙に賭ける旅もこれから本格的にはじまります。



作品を母校に寄贈 青葉益輝 氏

グラフィックデザイナー
アートディレクター

1939年 生まれ
1958年 (昭和33年) 海城高校卒
1962年
桑沢デザイン学院を卒業、広告代理店勤務
1970年

A&A青葉益輝広告制作室を設立
長野冬季オリンピック公式ポスターを手がける
紫綬褒章受賞

日本を代表するグラフィックデザイナーでアートディレクターの一人である青葉益輝さんがこのほど、これまで描きためた絵画や様々な材料で制作したオブジェなどの作品270余点を母校海城学園に寄贈しました。生徒たちが私の作品で何かを感じ、刺激を受けることになればうれしい。またこういう形で母校に何らかの貢献ができるという一例になれば、他にもいろいろな分野で活躍しているOBたちへのメッセージ

にもなるのではないかと思います」。

今回寄贈した作品は青葉さんが、「仕事としてではなく、本当はこう描きたい、こんなものを作りたいという思いで制作してきた」未発表の貴重な作品ばかり。そのような思い入れのある作品をすべて母校に寄贈したのは、こんな世界もあるということ若い人に見てもらいたいという思いとともに、青葉さん自身、ここで一区切りして、新たな「作品」を作りたいという思いがあるからかもしれない。それはもともとトータルに人の生活や生き方・地球全体までをデザインすることである。

「デザイナーとかアートディレクターというのは物事をあらゆる角度から凝視し本質をつかんで、そして見えた課題をトータルに解決するアイデアを出すことが仕事なんです」。日常の生活を見渡してみたら「無駄が多すぎる」と、知らなすぎることに、考えていないことなどが見えてきた。これを何とかデザイン的に解決したいという思いから、一人ひとりの生活を変える、考え方を考えるような「作品」を作った。『心』『エコ』の木を植えよう 人類百億人の時代を考えると『求龍堂』という本である。ポスター、写真、オブジェ、絵画、メッセージ、本・・・あらゆる形で表現する青葉さんの生き方を具現化した「作品」を、新宿と那須の教室で間近に接し、見ることができている。生徒たちからどのような反応が出てくるか楽しみだ。

(小西洋也 写・記)

「教師として生きて

社会科 目良 誠二郎



40 年を過ごした海城を去る日がやってきた。社会学の研究者になるつもりで入った大学で、遍歴の末、教育学の魅力を知り、教育学の研究者になるべく大学院に進んだ。しかし、ちょうどその年に始まった大学闘争の大波に巻き込まれ、最終的には政治と党派の理論に強い挫折と幻滅を味わった。経済的かつ思想的自立を求めて、つてを頼って海城の非常勤講師に雇ってもらった。そこで知り合った目沢民雄先生(英語科)や周東一也先生(社会科)に勧められ、池城安伴校長の許可をいただき、専任となった。大学院は中退し、教育学研究ではなく教育の現場で生きることを選択した。

以来 40 年、他の現場は知らない。思いがけないことに、親しくなった先輩・同僚たちはまもなく次々に去っていった。やむをえず、31 歳にして組合の委員長になり、17 年ほどその職を務めた。組合民主主義を徹底し、「生徒たちには学びやすく、教職員には働きやすい学校・職場を」というスローガンを掲げ、生徒の学ぶ権利と教師の働く権利の統一を一貫してめざした。48 歳で社会科主任となった。海城は既に有名私立受験校への道を歩み始めていた。促成栽培の受験秀才ではなく、視野の広い知性とたくましい行動力を兼ね備え

た人材をじっくり育てる、一味も二味もちがった受験校にしたい。そう思った。そこで、社会科全体で研究し、議論して導入にこぎ着けたのが、系統学習と結合した問題解決学習型の総合科目であった。導入から 17 年を経て、生徒たちは自分で問題を立て、文献・資料を集め、インタビュ・フィールドワークをこなし、IT と PC を駆使して、立派なレポート・卒業論文を書けるようになり、今や教育界でも注目されるようになった。

教師が学び、生徒には自分の頭で考えるように教育する。そのため教師として、いつさいの権威・権力に頼らず、あくまで自分の頭と感性で学習し、判断し、行動していくことに努めてきた。今回、退職に当たって、多くの生徒・卒業生・保護者・同僚たちから身に余る「贈る言葉」をいただいた。それは僕にとってどんな地位・名誉にも勝るものであった。最後まで一教師としての生き方を貫くことができて、本当に良かった。いま、その幸せをしみじみとかみしめている。末尾ではあるが、本校独自の益々の発展を祈る。

Mail: GZA01761@nifty.com
Blog:
「雪の朝はくは突然歌いたくなった」
<http://blog.goo.ne.jp/nazohige>

下村 徹 著



「ドナウの叫び： ワグナー・ ナンドール物語」

を読んで

故利根山光人先生のお宅で、今も奥様の主催するさまざまな催しが続いているが、その一日、友成哲久仁先輩(昭 25 卒)から、「ドナウの叫び……ワグナー・ナンドール物語」(幻冬舎刊)なる本を手渡された。著者は下村徹(昭 22 卒、「次郎物語」の下村湖人氏次男)さん。通学の途次、あこがれの目で見あげた「下村」の表札を思いだした。ご本を「海原」で紹介してほしいとのこと、とにかくお預かりした。



道祖神

ワグナー・ナンドール。1922 年ハンガリー生、70 年、栃木県益子にアトリエを構え、日本国籍を取得、75 才で歿するまでに、多くの彫刻作品を残している。戦後の美術にはかなり関心を持ってきたつもりだが、ナンドールという名は思い浮かばない。本の中の数葉の写真を見るだけでも、相当力のある作家と察せられる。区立図書館では手がかりがなかったが、東京都美術館の図書室に作品集が二冊あった。



モーゼ像

和久奈ちよ夫人の手になる昨年発行の真新しい写真集で、作品についての解説などないシンプルな、自信さえ思わせる美本である。ナンドールの作品はすべて見事だった。作風も古典的といえるほど重厚な彫像から、抽象化された人物、シニールな抽象、と多彩だが、すべて内面的、思索的な誠実さがうかがえる。殊に人物像の量感、作者とモデルの思いがはちきれんばかり。

ワグナー・ナンドールは、ブタペストで、彫刻、建築学、美術史、考古学、民俗学、解剖学などを学ぶ。第二次世界大戦では、激戦地で功績あり、戦後の政情から、それが投獄

の理由になる。更に敗北に終ったハンガリー革命では、反政府組織の幹部だったため、スウェーデンへ亡命、後に結婚する千代さんに出会う。日本は、幼い時に祖父から語り聞かされた「二トベの「プシドー」の国」で、やがて行くべき土地だった。この日本でもなお、身に危険を感じる時期もあったというナンドールは、今はハンガリーなどに、作品が置かれている。ライフ・ワーク「哲学の庭」。

下村さんは、和久奈ちよ夫人にインタビューを重ね、ハンガリーを訪ね、四年間をかけて本を完成させた。一人の異色の人物と、日本とハンガリー(というよりヨーロッパ)の歴史と文化をダイナミックに展開させて下さった。

ナンドールの作品は、栃木県益子町 TAO 世界文化発展研究所で見ることが出来る。

下村徹さんには前著に自伝的小説「摩天楼の谷間」がある。

また一つ、同窓会というワンダー・ランドの楽しさを知らされた。

(片山忠美 記)



ハンガリアン・コープス像

クラブ活動だより ②4

野球部

目標はベスト4

―夏の東京東大会―



野球は国民性に合うこともあってか、人気のあるスポーツとして親しまれている。野球部の歴史は古い。戦後創部以来、昭和20年代、30年代はかなりの強豪で鳴らし、シード校として定住していた。以来、幾多の変遷を経て今日もクラブ活動の中の中心的存在である。

今年3月、春休みを前にした野球部の部長の山本憲明先生と新主将の井手祥吾君を学校に訪ねた。

今年の部員数は45人(3月現在)、高2が12人、高1が33人。4月の新学年になると中学3年の2学期から硬球を握っている連中と、高校から

入学の新1年生が入ってくる。今年の目標は夏の東京東大会で4勝してベスト4に進出することだ。高校野球連盟で言うシーズンは3月から11月までで、その中に春の大会と秋の新人戦が入る。この期間は校庭を使つての練習もあるが、週3回の放課後練習では他のクラブとの兼ね合いもあり、十分に練習するには近郊の設備の整った施設、朝霞、江戸川、神宮室内練習場などを使う場合が多い。オフシーズンでは体力造りにも力を入れランニングや筋トレをやるという。卒業生には近年では慶大、東大で現役で活躍する選手が多く、昨秋の東京6大学の東大には4人がメンバー登録された。井手君たちもその後を追うであろう。他にも一橋大学、東工大(いずれも東都4部リーグ)で活躍している人が数人いるという。OB会とも密接に連絡を取っていて、現役を支える協力的な存在になっているという。

ユニフォームには校名を漢字で表し、かつての校章、錨にNSをエンブレムとして腕に付け選手からは好評だそうだ。OBには校歌を甲子園で聞きたいと思っている人が多い。山本先生の言う文武両道を実践して、我々の夢を実現してもらいたい。

(石原長夫 記 北村 隆 写)



◎ 短 信

平成21年度総会は、本号1面に記載したとおり、6月6日(土)に開催されます。総会では、会の運営に必要とされる案件が審議されます。一昨年度では、会報が年2回発行され、総会で承認された案件等は12月発行号でお知らせしてきました。しかし昨年からは、会報の発行が年1回5月になり、6月開催の総会について

では、当然的に別途総会単独のお知らせをすべきところでしたが、昨年はそれをやらずにきてしまいました。このことについては、4月11日に開催した合同委員会及び常任幹事会で、植木会長はじめ、その他の委員から指摘があり、会として大変遺憾なことであったと反省しました。本年は総会終了後、なるべく早い時期に皆様方にお知らせすることにします。どうぞよろしくお願いいたします。

海原会

会長交代のお知らせ

植木昭夫会長が勇退、新会長は徳光和夫氏

この度、平成9年就任以来、12年間(4期目の2年終了)の長い期間に亘って会長としてご尽力された植木昭夫氏(昭和20年卒)が、ご本人の一身上の都合で勇退されることになりました。

後任は徳光和夫氏(昭和34年卒)が就任されます。6月6日の総会当日には、新会長として出席の予定です。

■ お知らせ ■

海原会のメールボックス(村久憲先生管理)に、28歳の内沼晋太郎さん(平成11年卒)から、書籍出版の連絡が入りました。

タイトル：本の未来をつくる仕事／仕事の未来をつくる本
出版社：朝日新聞出版

編集後記

本号がお手許に届いて、紙面の大きさが変わったことに気付かれましたか。従来のタブロイド版から一般的に使用されている用紙のA4版に変えてみました。このことにより、頁数も従来の8頁から12頁に増やし、紙面の充実を図ってみました。初めての事で、未だ十分とはいえませんが、今後も引き続き編集部員全員で知恵を出し合い、頑張っていきたいと考えています。勿論、会員あつての本誌ですから、どしどしご意見、ご要望をお寄せ下さいますようお願いいたします。

(なお、本号の編集から一人増えて六人体制(昭和26卒小川晴望、昭和27卒山本満男、昭和28卒片山忠美、昭和33卒石原長夫、昭和40卒北村隆、昭和41卒小西洋也)になりました。)

小川晴望